



# 廿日市市教委だより

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

令和5年  
3月15日  
第11号



令和5年度市教委だよりも今号が最終号となります。今年度も先生方が気になる、読みたくなる、話題にしたくなる市教委だよりを目指し、市や学校の取組等を発信してきました。

今年度も残り3週間となりました。子ども達も先生方も笑顔で修了式を迎えることができよう願っています。そして、短い春休みですが、少しでも心と体を休めて、また新たな気持ちで新年度をスタートさせましょう！



## ミニミニ外国 in 広島



「広島に居ながら、外国の街を味わう。」そんな体験をした小学生がいます。

小学校3・4年生では外国語活動、小学校5・6年生では外国語科の授業が日々、どこの学校でも行われているところですが、子ども達が学んだことを生き生きと発揮できる場面は、大変貴重です。もっと楽しみながら英語を身近に感じること、英語が通じる喜びや達成感をたくさん味わえる成功体験をすることを目的とした外国の街体験イベントの参加モニターに廿日市市内の小学校3校が応募しました。12月から1月にかけて、ある学校はPTAの活動として、ある学校は授業の一環として、イベントを開催しました。企業の方が持ってきてくださった街セットと外国人スタッフの方々に、市民センターや体育館が、外国の雰囲気及早変わりです。



パスポートを持って、いざアーチをくぐると、そこは外国の街！くぐる前からワクワク感が止まらない様子でした。名前、年齢、そして「何をしに来たの？」と入国審査で聞かれます。

「sightseeing！（観光）」と元気よく答えて、入国審査をパスしていました。ホテルにチェックインするときも、銀行でドルに両替するときも、ドルを使って英語でゲームするときも、すべて英語で問われ、英語で答えます。「Exchange, please.」と銀行でおそろおそろ声をかけ、見事、1ドル札が出てきたときの笑顔は、まさに成功体験によるものです！出国するまでの間、子ども達が外国の方を相手に、終始笑顔で英語を話す姿がとても印象的でした。



廿日市小学校



平良小学校



大野西小学校

## 四季が丘小学校6年生企画 「みんなで仲良く楽しく遊ぼう」

「学級や全校児童の仲を深める」ことをねらいとして、6年生が全校で楽しめるゲームを考え、1、2月で計4回、全教室をオンラインでつなぎ、朝の会の時間を使って行われました。

写真は、令和5年2月7日（火）に行われたジェスチャーゲームの様子です。

最初に6年生が、めあて「**友達のことを信じて協力する**」を伝え、ゲームの内容・ルールを説明し、実際にやって見せてあげました。どのクラスでも笑顔や楽しそうな声が飛び交い、児童同士の仲が深まったとても微笑ましい時間でした。

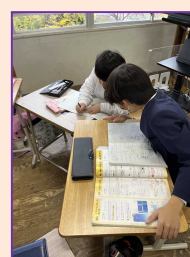


## 金剛寺小学校「自学勉強会」

学校行事において、縦割り班で自主勉強学習会を行い、様々な自主勉強の方法に触れたり、より良いやり方について学んだりする取組が行われています。

写真は、高学年の児童が下学年の児童に自主勉強のやり方についてアドバイスしている様子です。先生方が、ねらいや活動イメージを共有し、児童個々の取組の中に、ゆるやかな共働が実現されていました。

「(達成できるか・できないかギリギリの) 目標設定→実践→振り返り」というサイクルを回すことの大切さを改めて実感しました。



## キャリア教育の充実に向けて

### 【出会いや偶然を大切にしていきましょう！】

先生方にも、「小中で尊敬できる恩師に出会った」「友達に誘われて部活や趣味にはまった」「予期せぬきっかけで進路が変わった」という経験があるのでないでしょうか。

小・中学校のうちは将来の目標は変わりやすく、「絶対に変えてはいけないもの」ではありません。目標に向けた取組の中で、自分の限界に気付くこともあれば、もっと楽しそうなことが見つかるかもしれません。「変わる可能性がある」ことを前提に、児童生徒には**好奇心や冒険心をもつことの大切さ**を伝えてほしいです。

また、**好きなこと・楽しいことを続けていく継続力**も重要です。**上手いできない時にはどうにかやっていく楽観性や柔軟性**も必要です。

先生方には、そういった児童生徒の好奇心や冒険心、継続力、楽観性や柔軟性等の状態を把握し、時にはそれを鼓舞したり、チャンスを提供したりしてあげてほしいです。

キャリア教育の充実は、学校生活の充実にもつながり、児童生徒一人一人の成長だけでなく、学級全体の協力や協働、成長にもつながります。

今後も、キャリア教育を通じて「**児童生徒をつなぐ**」「**大人同士もつながる**」ような学校教育活動に取り組んでいしましょう。

## 「学びの革新」の更なる推進

令和4年度も、あと数週間となりました。この1年で、ご自身の授業改善は進んだでしょうか。児童生徒が主体的に学ぶ姿がたくさん見られたでしょうか。

令和5年度のキーワード

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

「みんな一緒に同じペースで同じことを」という  
一律一様の教育中心



「それぞれのペースで自分の学びを」「対話を通じた『納得解』の形成」という

多様性を重視した教育中心へ

そのために、教師に求められる力は・・・

- ① 質の高い問いを設定する力
- ② 単元を構想する力
- ③ デジタル機器を活用する力
- ④ ファシリテートする力

次年度に向け、具体的に授業の何を継続し、何を  
変えるのか、しっかりふり返ってみましょう。

## アテンション ぱり〜ず !!



今年度最後の市教委だよりということで、最終号の「アテンション ぱり〜ず」は、編集長を務めた金本 旭史 指導主事にインタビューしました！



Q 今年度、市教委だよりの編集長として、こだわったポイントがありますか？

先生方が気になる、読みたくなる、話題にしたくなる市教委だよりを目指し、できるだけ旬な話題や学校が知りたいと思う話題を取りあげるように、心がけました。そして、それぞれの学校や先生方の頑張りを、他の学校の先生方に、知ってもらうことにもこだわりました。

Q 取材や編集をしながら、感じたことはありますか？

どの学校も、児童生徒に力をつけようと、本当にたくさんの工夫や苦勞をしながら取り組まれていると感じました。先生方がこんなにも頑張ってくださっているので、市教委として、しっかりバックアップしていかなければならないと思っています。

Q これまで、市教委だよりを読んでくださった皆さんや取材に協力してくださった皆さんに、一言お願いします。

この一年間、市教委だよりの発行にあたり、ご協力ありがとうございました。学校の取組時期と発行時期のギャップや原稿スペースの関係で、発信できなかった話題や情報もたくさんありました。教職員アンケートにおける「市教委だよりをどれくらい読んでいますか」に対して、「必ず読む」「ほぼ読む」の割合は、52.3%と少し残念な結果でした。この結果を受け、今後、市教委としても、市教委だよりの在り方を検討し、より効果的な情報発信ができるよう努めてまいります。